

地域おこし協力隊だより No.7

こうげはまる。

上毛の山々は
何をする場所？

山は登るもんじゃなくて、見るもんだ。

地元のおいちゃんが冗談まじりに笑います。季節ごとに見せる上毛の山々の表情はとても豊かです。新緑、濃緑、紅葉、雪化粧。遠くから眺めるのもたしかにいいものです。でも、この日ばかりは、見るものでも、登るものでもありません。山は「走るもの」なのです。

昨年に引き続き、11月19日に山を走る大会「修験道トレイル」が行なわれ、ランナーが町内の山々を子鹿のように駆け抜けました。ふもとまで転がり落ちそうな下り坂、口から弱音と肺と一緒に飛び出そうな登りの連続です。軽やかだった足取りは疲れてくると、生まれたての子鹿のようにフルフルと震えていまにも倒れそう。そうなのはバンビ(万事)休すです。

参加者は昨年から倍増

2回目となる今年は、昨年の倍近い180人が出場。遠くは関東、関西からも。遠方から出場して満足してもらえる山々が、この町にはあります。

そう裏付けるかのように、体力の限界までキツイ思いをしていたはずの選手は笑顔が絶えません。全力を出し切った充実感が表情に漂っていました。もてなす側の地域の方々もその笑顔につられて、なんだか嬉しそう。眺めてよし、走ってよしの上毛の山はみんなが「楽しむもん」なのでした。

上毛町田舎暮らし研究交流サロン・若岡隊員

松尾山修験道回峰行実行委員会
松尾山修験道回峰行

今年で10回目となる松尾山修験道回峰行が、10回とも参加された3名を含む22名参加のもと、実行委員、スタッフ9名を含め総勢31名で11月4日(土)・5日(日)の1泊2日の日程で開催されました。

このイベントは、松尾山の修験者たちが行っていた峰入り修行の足跡を巡る回峰行です。峰入りとは、修験者が山々を巡り、山や岩、巨樹など大自然に宿る神霊と交感し、修行によって自らの霊力を高めようとする山岳修行です。

4日、午前8時にゆいきららを出発し、かつて英彦山六峯のひとつとして栄えた松尾山を經由、英彦山山地が周防灘へ向かい派生した山稜の尾根道を南進し、標高807mの雁股山山頂を目指して登頂しました。山頂からは尾根道を西進、雁股峠から広域基幹林道第2豊築線を歩き、周防灘へ向かう溪流沿いの谷筋道を北進、再びゆいきららへ戻り、11月19日(日)に開催されたトレランコースの一部である、全行程約20kmにわたる山岳修行を全員自己の足のみで完歩しました。大平楽の温泉で体を癒した後、ゆいきららで懇親会を行いました。今回のコースは、距離的には従来より短かく、山道が多かったため参加者からはとても喜ばれました。

閉会式で完歩された皆さんに満行証を渡し、10回すべて参加し完歩された方々3人には大平柿をお渡ししました。

この回峰行は、当初参加されていた方々が高齢になったこともあり、徐々に参加者が減少しました。参加者を増やすため、コース設定を十分考え、PRを行い、11回目となる来年の回峰行は、11月の3日(土)、4日(日)に行う予定です。

●問い合わせ先 TEL 090-1877-7369(福本)



DIY漆喰塗りワークショップ開催!

10月7日(土)に「DIY漆喰塗りワークショップ」を開催しました。前半はスライドを使った漆喰の座学、後半は施工方法とテクニックのレクチャーを受けつつ、実際に塗ってみました。

今回使わせていただいた田川産業さんのDIY専用漆喰はとっても扱いやすく、壁にのせるとスーッと伸びてすぐ塗りやすかったです。

事前に、漆喰がどんな素材でできているのか教わった上で作業をすると、質感や匂いの理由がわかってきます。塗り始めると皆さん黙々と作業をされていて、表情は真剣そのもの。すみっこなど塗りにくく難しいところまで、とってもキレイに仕上がりました。

また機会があれば、こういったDIY講座をやりたいと思いますので、ぜひご参加ください。

●お問い合わせ先
上毛町田舎暮らし研究交流サロン
TEL 72-1556
E-mail info@miranoshika.org

